



from nothing
to the vision



Education
+
Creative
"Educreative"

ASOBI・COM

「遊び込む」

集中と夢中は違います。
集中は疲れる。夢中は疲れない。
遊ぶ時は集中ではなく、夢中です。
だから片付けは難しい。
切り替えが難しい。
でもそれがケジメ。
でもそれがケジメ。
繰り返し根気強く行うことで
身に付きます。
指示だけでなく、
やる気スイッチを押してあげるのも
大人の役割。



「幼児教育の原点」

遊ぼう！
時間があつたら遊ぼう！
遊び込もう！

光が丘幼稚園は一言でいうと
「昔ながらのオーソドックスな幼稚園」です。
スイミングや英語等のいわゆる習い事や
体育や運動、音楽、国語・算数などの
小学校の先取り教育等など、
いわゆる「ウリ」になる内容はありません。
「ウリ」を挙げるならば、縦割り保育です。
それ以外では折り紙製作もありますし、
廃材を使って製作をしたり、
お絵描きをしたり、朝の会や帰りの会が
あったり、運動会、発表会もあります。
どれに力を入れているのか？
といわれると困ってしまいます。
全てに力を入れています。

とにかく、幼児期に大事にしたい、
子どもたちの育ちを、
徹底的に半袖裸足で遊び込むことで、
培っていききたいと考えています。



NATURE OF MATERIALS

「四季折々」

春になれば桜が咲き誇り、
花壇にはパンジーやビオラが、
色とりどりの花を咲かせます。
ちようちよが舞い、
毛虫も仲良く共生しています。
夏になると園庭の木々は葉を広げ、
日陰を作ってくれます。
秋になると
イチヨウの木がいろどりを換え、
落ち葉が園庭を埋め尽くします。
彼岸花も一斉に開きます。
栗のイガイガも子どもたちは興味深々。
冬になると霜柱ができ、
椿がピンク色の花を咲かせます。

四季が織りなすこの環境も、
子どもたちの立派な教材です。

WHAT IS PLAYING?

「遊びって？」

大人が与えた遊びは遊びではない。
子どもがクリエイティブしていく遊びこそが
「子どもの遊び」であると考えています。

地面に木の枝が落ちていたら
拾ってゴミ箱に入れるのが大人、
地面に絵を描き始めるのが子ども。
虹を見れば、七色の順番はね・・・
と、教えたがるのが大人、
虹の滑り台滑ってみたいなと思うのが
子どもです。

そのサポート、興味を持たせること、
不得意分野への挑戦、できたことへの
達成感の共有こそが、
私達職員ができることです。

先生の言うとおりにする子は育てません。
善悪の判断を自分で行い
考動する子を育てます。



新制度の、新制度による、 子どもたちのための、 新たな「教育提供型施設。」

「認定こども園を始めたワケ」
ある年、別の保育園に通っている一歳の妹と、光が丘幼稚園に通っている四歳のお兄ちゃんとの運動会が重なりました。

一生に一度のこの年の運動会。その運動会で家族がバラバラ。これは本当に子どもたちの育ちにとっていいことなのだろうか？ そんなことはない。わざわざ光が丘幼稚園を選んで来てくださっている方にとってこのような想いをさせてはいけな、と考え方を変えました。

平成22年4月に幼稚園型認定こども園として、0・1・2歳児クラスを新たに作り、幼児教育を受けたい保育園児も幼児教育が受けられる施設となりました。

光が丘幼稚園は幼稚園です。幼稚園教育を軸に教育を行うことを目的としています。長時間預かることを目的としておりません。土曜日はお休みです。

とは言え、保育の時間も大切にしています。担任も保育担当も、専門職でありプロであることに変わりはありません。

